

循環型社会をつくるために

ごみを減らし、資源の循環を実現し、環境への負担が少ない社会を「循環型社会」といいます。

日本のごみの現状は？

毎日の生活の中から出るゴミの量は、一年間でなんと約5,300万トンにもなります。(一人一日約1.1kgの家庭ゴミを出していることとなります) 平成17年度

埋め立て地には限界があります

くらしが豊かになるのに比例して、ごみの量はどんどん増えてきています。でも、そのごみを最終的に処分する埋め立て地は、いまやパンク状態です(首都圏)。

「循環型社会」実現のための取組み優先順位 循環型社会のキーワードは3R

分別が大事なのね!



1位 リデュース 発生抑制

- ◆ リサイクルに配慮した製品等の購入
- ◆ 家庭内にごみを持ち込まない
- ◆ 家庭内からごみを出さない

2位 リユース 再使用

- ◆ 「㊤」マーク製品や、統一規格ビン製品の購入

3位 リサイクル 再生利用

- ◆ 分別収集の協力
- ◆ 製品・商品等の長期使用

今後、もっとも大切な“R”です



過剰包装お断り!

Refuse (リフューズ) ➡➡ 回避 (必要無い物は断る)
Repair (リペア) ➡➡ 修理・修繕

循環型社会をつくるためには、みんなの協力が必要です。

「循環型社会」実現のためには、消費者・事業者・市町村など「容器包装リサイクル法」に関わるそれぞれが自分たちの役割を果たすことが大切です。

